

令和6年度 第1回浦河警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年6月18日(火) 午後2時10分から午後3時30分までの間

2 開催場所

札幌方面浦河警察署 大会議室

3 出席者

- | | | |
|-----|-----------|-----------|
| (1) | 警察署協議会委員 | 5人(定員7人) |
| | 会 長 | 米 山 豊 |
| | 副 会 長 | 田 中 正 人 |
| | 委 員 | 三 好 昭 弘 |
| | 委 員 | 神 林 邦 仁 子 |
| | 委 員 | 荒 木 ゆ かり |
| (2) | 警察署(5人) | |
| | 署 長 | 田 村 聡 憲 |
| | 副 署 長 | 義 川 武 利 |
| | 刑事・生活安全課長 | 浅 岡 竜 介 |
| | 地域・交通課長 | 伊 藤 健 太 朗 |
| | 警 務 係 長 | |

4 開催状況

(1) 会長挨拶

(2) 署長挨拶

- ・ 北海道警察官採用募集広報について
- ・ 夏の交通安全運動の実施について
- ・ SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止について

(3) 浦河署業務概況について

署長説明

(4) 諮問事項『タイヤ脱輪事故の原因と対策』について

ア 前回協議会での諮問事項に対する委員からの要望・意見内容

昨年から道内において、軽自動車や大型車による脱輪事故の脅威が報道されており、浦河警察署の管轄でいつ重大な事故が発生しても不思議ではないと感じている。

道内における脱輪事故の発生状況と原因、事故防止に向けた警察としての対策などについて説明を願いたい。

イ 地域・交通課長説明

(7) 札幌市西区におけるタイヤ脱輪事故

昨年11月14日に札幌市西区において発生した4歳女児被害に係る過失運転致傷事件については、報道のとおり事故直前に違和感を確かめる動作のほか、違法改造も行っていた可能性があり、現時点で処分はまだ確定していない。

(イ) 道内における発生状況

令和6年中の発生件数については、1月から4月末までに35件発生しており、その大半が左側タイヤとなっている。

また、当署管内でも浦河町の国道上で1件発生している。(人身被害なし。)

(ウ) 脱輪事故の原因と対策

脱輪事故の原因としては、タイヤ交換時に増し締めを行わないことのほか、異音等の異常が発生した際に走行を継続したことで発生している。

また、左側タイヤの脱輪が多い要因として、左側はナットの締める方向が時計回りなのに対し、タイヤの回転方向は反時計回りとなるため、逆方向に力が働いてしまうほか、道路形状として中央部から側道側にかけて低くなる勾配が左側タイヤにより多く負荷をかけることが脱輪事故の要因と考えられる。

対策としては、ナットの増し締め、空気圧のチェック、タイヤの摩耗や損傷の確認のほか、事業所であれば運行前点検の励行、運転管理者や安全運転管理者による車両の点検整備及び運転手への安全教育が重要となる。

(エ) 諮問を反映させた警察の措置状況

警察においては、パトロール等の街頭活動を通じて、整備不良車両に対する指導取締りのほか、タイヤ交換期に巡回連絡を通じて、交換後の増し締め要領、左側タイヤの特性などについて周知している。

(5) その他の要望・意見と警察の説明

ア 投資詐欺の防止対策について

(委員)

有名人を騙るSNS型投資詐欺により、高額な被害を受けるなどネットを介した詐欺の報道を見聞きするが、その対策と浦河警察署管内の発生状況について回答を願いたい。

《警察》

当署の被害状況については、本年1月以降は未遂を含めて5件認知しており、被害額は合計450万3,000円でこれまでの特殊詐欺と違い被害は高齢者に限らない。

対策については、あらゆる機会を通じた注意喚起のほか、啓発チラシの新聞折り込み、銀行や役場などの協力を得て啓発用ポケットティッシュを配置するなど効果的な広報啓発活動に取り組んでいるところである。

イ 熊による人身被害の防止対策

(委員)

近年、熊の出没や被害が日高地方でも増えているように感じる一方で、注意を呼び掛ける看板の設置数は増えていないように思われる。

キャンプ、魚釣り、山菜採り、きのこ採りの方々は地方からも来ており、管内全域に設置が必要と思われるが、人身被害の防止対策について警察の立場として回答を願いたい。

《警察》

熊出没の警戒看板については、町の判断に基づき設置しており、警察官が現場

確認を行った結果、設置したほうが良いと判断した際に、町へ看板設置の検討を要請している。

北海道警察においては、熊出没時の人身被害防止の観点から、町、振興局、猟友会等の関係機関・団体と連携の上、各種情報発信、現場における広報警戒、避難誘導等の必要な措置を行っている。

当署管内でも本年5月5日に熊による人身被害が発生しており、警察官が現場臨場し、町職員や猟友会の方と熊の痕跡を確認の上、車載マイクを使用した広報、個別訪問による住民への注意喚起、報道発表や防犯メールなどを活用した情報発信を実施している。

ウ DV等の認知件数について

(委員)

浦河警察署管内におけるDV、パワハラ、セクハラなどの認知状況について、回答を願いたい。

《警察》

パワハラやセクハラといったハラスメントについては、警察で統計は調査しておらず然るべき対応窓口を教示しているところであるが、犯罪に抵触する行為があれば警察として事件化などの措置を講じている。

DV事案については、本年1月以降5件認知しており、検挙や警告など事案に応じた対処をしている。

(委員)

DV事案は女性が被害に遭う場合が多いと思うが、管内にシェルターなどの避難が可能な施設はあるのか。

《警察》

被害者の身体の安全確保を最優先とし、受け入れ可能なシェルターと調整をした上で避難することになる。

(委員)

DV事案の行為者でアルコールに起因するものは多いのか。

《警察》

DV事案の背景に飲酒が起因しているケースは少なくない印象を受ける。

エ 少年の健全育成に関する問題について

(委員)

浦河警察署管内での不登校やひきこもり等の実態について回答願いたい。

《警察》

警察署において、不登校やひきこもりの人数といった実態について把握はしておらず、少年に関する相談があった場合は、少年心理専門官などが在籍する少年サポートセンターと連携し、継続的な少年の立ち直り支援を行っている。

オ 高齢者世帯に対する防犯対策状況について

(委員)

昨今、在宅中でも強盗に入られ、高齢者が危害を加えられる事件を報道で見聞きするが、周囲でも独居老人世帯は多数あり、いつ発生してもおかしくない。

個人で防犯対策を行う以外に警察や自治体での対策状況について回答願いたい。

《警察》

当署では、ほくとくん防犯メールや街頭啓発のほか、高齢者の方が集まる会合

など、あらゆる機会を通じて防犯に関する情報提供を行っている。

また、交番及び駐在所勤務員による巡回連絡を通じて、個別に防犯に関する啓発も行っている。

自治体とも連携し、犯罪情勢に合わせた様々な防犯対策を講じているところではあるが、委員から意見等があれば今後の参考としたい。

(6) 次回の諮問事項について

昨今、SNSを通じて有名人の名前や写真を悪用して、「暗号資産や株に投資すれば利益が出る」などと嘘をつき、誤信させて金銭をだまし取る詐欺が多く発生している。

被害額も大きく危機的な状況と報道等で見聞きしており、浦河警察署の管轄において、いつ発生しても不思議ではないと感じているところである。

よって、SNS型投資詐欺の発生状況、被害防止に向けた警察署の対策状況などについて次回の警察署協議会で説明を願いたい。

(7) 警察署協議会の開催予定について

次回の警察署協議会は、令和6年9月の予定とする。

以 上